

補正
予算

新型コロナウイルス対策に8,939万円を増額

一般会計補正予算の主なもの

質疑

質疑 コロナ対策の状況は
委員 コロナ緊急対策
で対応に関わった担当
課ごとの職員の数はい
くつか
当局 定額給付金につ
いては、総務課内に給
付室を設置し6名を配
置して対応した。経済
対策については、商工
観光課、農林課で対応
し、感染症対策では、

質疑 健康福祉課、病院、教
育委員会に対応した。
委員 コロナ対策の負
担増により、職員に体
調不良などはないか。
当局 体調不良はない
が、業務が長期間に渡
ったため疲れが出てく
ると思われる。計画的
に休みなどを組みなが
ら休養してもらいたい。

質疑 荒砥高等学校活
性化事業における地域
連携協議会の組織構成
等はどのようになって
いるのか。
当局 これから立ち上
げだが、外部有識者、
行政関係者等10名程度
を想定し、学校職員等
による実務者会議も設
置して具体的な取り組
みを行う。

質疑 教育委員会事務
局費の感染症対策の物
品はどのようなものか。
当局 体表面温度を測
るためのサーマルカメ
ラ、教室換気用のサー
キュレーター、自動で
消毒液が出るアルコー
ル消毒液を各小中学校に配置し
たいと考えている。



新型コロナウイルス感染症対策 8,939万円

- ・感染症対策のための基金を創設。 3,000万円
- ・勤労者のため生活資金、教育資金、福祉資金の借り入れに対する利子補給。 150万円
- ・学校の臨時休業に伴う放課後等デイサービスの利用者負担を免除する費用。 9万円
- ・県の災害・経営安定対策資金制度による貸付金（農業）への利子補給。 30万円
- ・商工会が実施する商店の販売促進事業への補助。 20万円
- ・感染拡大防止のための物品購入。 450万円
- ・感染症の対策や自然災害が発生したときに行政の機能を確保するため、旧医師住宅を取得して改修する費用。 1,860万円
- ・感染の拡大を防止するため、学校で使用する物品の購入など。 870万円
- ・学校給食費の保護者負担に支援する費用の追加。 100万円
- ・新型コロナウイルスに対応するための予備費。 2,000万円
など

コミュニティ助成事業 250万円

鷹山地区自治振興会が活動用の備品を整備する経費への助成。

地区コミュニティセンター費 229万円

分館を整備するための補助の追加。

地域介護・福祉空間助成事業 1,540万円

老人福祉施設が非常用自家発電設備を設置する費用の支援。

有害鳥獣対策事業費 115万円

イノシシなどによる農作物への被害を防止するため、電気柵を設置する費用の補助。

企業立地促進事業 3,600万円

企業の立地を進めるための補助金の追加。

荒砥高等学校活性化事業 10万円

高校と地域が一緒になって活性化を検討する地域連携協議会の活動を補助する費用。

文化財保護調査事業 49万円

郷土資料館における展示のための費用。

など

◎ 財源は国、県支出金、繰越金などで対応します。

令和2年度補正予算総括表

会計項目	補正額	補正後の額
一般会計	1億6,126万円	92億490万円

※万円未満は端数を調整しています。